

個人 6

受 令和 2 年 8 月 25 日  
付 (午前) ・ 午後 9 時 00 分

一般質問(代表(個人)通告書

令和2年 8 月 25 日

尾張旭市議会議長 殿

氏名 櫻井直樹

尾張旭市議会会議規則第50条第1項の規定により 9 月定例会において別紙のと  
おり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 2 件

2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項(大項目)ごとに一問一答
<input type="radio"/>	1回目から 質問事項(大項目)ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. <u>1</u>	運転免許自主返納について
要 旨	<p>日本人の平均寿命が、男性が81.41歳、女性が87.45歳と発表され、超高齢化社会が進み、今や4人に1人が65歳以上の時代になっています。その中で、近年、高齢ドライバーによる交通事故が増え続け、このことから、運転免許を自主的に返納する高齢者も年々増加しています。</p> <p>そこで、自動車運転免許の自主返納について、以下の5点について答弁を求めます。</p> <p>(1) 運転免許自主返納支援の実態について          高齢者の交通事故が報道されるたびに運転免許の自主返納が話題になります。本市の運転免許自主返納支援の実態について、利用者数を含めて伺う。</p> <p>(2) 高齢者交通安全サポート事業について          運転免許の自主返納後に運転経歴証明書を申請すると証明書が交付され、証明書の提示で様々な特典が受けられます。本市の高齢者交通安全サポート事業について伺う。</p> <p>(3) 自主返納支援制度の拡充について          高齢ドライバーの交通事故を防止するために、運転免許の自主返納が促進されています。そのために、自主返納された方の不便さを補うような支援制度の拡充が求められています。支援制度の今後の方針について伺う。</p> <p>(4) 高齢者の買物支援について          運転免許の自主返納を決断できない一つの理由として、「車がないと買物が不便である」ということが挙げられる。市内には、車がないと買物に不便な地域がたくさんあります。そのような地域に居住する高齢者の買物支援について伺う。</p> <p>(5) 買物支援としての市営バスの運行について          車がないと買物に不便な地域を補うのも市営バスの大きな役割と考えます。買物不便地区の買物支援として、市営バスの運行ルート、運行ダイヤについて伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>2</u>	ペットボトルの回収方法について
要 旨	<p>相次ぐ災害による避難生活や夏場の記録的な猛暑により、ペットボトル飲料水の需要は、大きく増加しています。</p> <p>本市におけるペットボトル回収は、集会所や公民館などの拠点回収方式であるが、拠点場所まで遠い市民は、不便を感じており、特に高齢者の方は、拠点場所まで行くのに大変な苦勞をされています。</p> <p>そこで、本市のペットボトル回収方法について、以下の3点について答弁を求めます。</p> <p>(1) 資源ごみであるペットボトルの回収量の推移について 「混ぜればごみ、分ければ資源」の考えの下、清涼飲料水業界では、海洋ごみ問題に業界が一丸となって取り組んでいます。持続可能な社会の実現に貢献する必要がありますが、本市のペットボトル回収量の推移について伺う。</p> <p>(2) 回収方法の現状について ペットボトルを拠点場所で回収するようになった経緯と拠点場所の数、市民の利用しやすさについて、市の見解を伺う。</p> <p>(3) ごみ集積所におけるペットボトル回収について 「ペットボトルの回収場所が遠い」という声を市民から聞きます。地域のごみ集積所で、ペットボトルの回収ができないかについて伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。